

小六石の歴史

小六石は天文年間(1532-1555)、諏訪地方の攻略をすすめていた武田信玄は岡田小六という人物を最前線のこの地に送り込みます。彼は小屋をつくり農業をしながら諏訪の情勢武田氏に報告していたそうです。その際に使用されたのが、小屋の近くにあったこの石。石にあいていた穴に伝書を入れ武田氏の者がそれを取りにきていました。その後いつの頃からか小六石と呼ばれるようになり周辺は小六地区となりました。時代劇にでてきそうなお話ですね。

